システムノート

本マニュアルはPC－9801シリーズ版の専用システムノートです。このマニュアルには対応機種、ハードの設定、拡張などについて書かれています。お手持ちの機種が『大東亜黙示録　轟』に対応しているかどうかをお確かめ下さい。

はじめに

この度は、『大東亜黙示録　轟』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本ゲームには2部のマニュアルが付属しております。ゲームをお楽しみいただく上でお役立て下さい。

「システムノート」には対応機種・起動時の注意などが書かれています。初めてゲームをなさる場合は、まずこちらをお読みの上、お手持ちのハード及び本製品を可動状態にセットして下さい。

「プレイングマニュアル」にはゲームの操作方法、画面の見方など、実際に『大東亜黙示録　轟』を楽しむための方法が書かれています。

ミッションリスト

ポイントミッション

※水上打撃任務

移動中に敵艦隊と遭遇した場合積極的に攻撃しこれを撃破することを目的とした任務です。

※対潜水艦任務

移動中に敵潜水艦隊を警戒し、これを発見した場合その撃滅を目的とする任務です。この任務上を水上艦隊が選択する場合艦隊に必ず駆逐艦ユニットが存在しなければなりません。

※強襲上陸任務

海に面した敵の拠点を占領する任務であるこの任務を選択する場合は、艦隊中に必ず一つ以上の陸軍師団ユニットとそれを輸送する商船ユニットを含み、移動目標を陸上を含むヘクスにしなければなりません。強襲上陸によって生じた陸上戦闘は陸軍行動フェイズに解決します。潜水艦隊はこの任務を選択できません。

※陸上支援任務

陸上部隊の戦闘や強襲上陸を支援する任務です。この任務を選択する場合、敵の陸上部隊が存在するヘクスを移動目標に設定しなければなりません。潜水艦隊はこの任務を選択できません。

※拠点攻撃任務

海に面した敵の陸上の拠点および海上の拠点の施設及び修理などの理由により艦隊に編入していない艦船ユニットを艦隊に所属するユニットで攻撃する任務です。拠点を攻撃した場合、その拠点の能力を減少させることができます。この任務を選択する場合、艦隊中に一つ以上の商船以外の艦船ユニットが存在しなければなりません。戦闘は艦隊任務実行セグメントに解決します。潜水艦隊がこの任務を選択した場合、拠点に所属している艦船にのみ攻撃することが出来ます。

※拠点防衛任務

隊がいるヘクスにある拠点を防衛する任務です。**この任務を選択した場合、移動とラインミッションの選択はできません。**

ラインミッション

※輸送護衛任務

移動中に敵艦隊と遭遇した場合できんだせ交戦商船ユニットを護衛することを目的とする任務です。

※高速移動任務

できるだけ高速で移動し、目的地により速く到とする任務である。この任務を選択した場合、艦隊の航続が 1.2 倍になります。なお、ポイントミッションで無選択を選んだ艦隊のみがこの任務を選択できます。

※水上打撃任務

ポイントミッションの水上打撃任務と同じです。

※対潜水艦任務

ポイントミッションの対潜水艦任務と同じです。

セットアップ

動作環境

PC−9801版「大東亜黙示録　轟」は以下の環境での動作を保証します。

1　コンピューター本体
2　その位のハードウェア　　他

1．コンピューター本体

PC−9801シリーズ　VM／UV以降
※純正内蔵2HDディスクドライブを使用して下さい。外付けドライブでの動作は保証しかねます。

【対応機種一覧】

拡張無しで動作可能な機種

NEC

PC−9801	RA2／5／21／51	RX2／4／21／51
	VX2／4／21／41	RS21／41
	VM11／21	DO
	DO+	EX2／5
	UV11／21	UX21／41
	DX2／5／U2／U5	DA2／5／U2／U5
	DS2／5／U2／U5	UF

EPSON

PC−286	X／V／VE／VF／VS／VX／VG／US／UX／C
PC−286	CSTD
PC−386	S／V／M／VR

拡張することにより動作可能な機種

PC−9801　VM2／4　　UV2／4

【メモリの拡張について】

PC−9801　VM2／4　UV2／4はRAMが386KBの機種です。これらの機種はRAMの拡張が必要です。RAMの増設方法については、ハード本体付属の各マニュアルを参照して下さい。

【16色ボードの拡張について】

PC−9801　VM2／4　UV2／4は16色アナログ表示能力を標準実装していません。これらの機種は16色アナログボードの拡張が必要です。拡張がされていない場合でも画面の表示はされますが本製品は16色アナログ表示を前提に製作されていますので、拡張無しですとゲームの進行に支障をきたします。ボードの増設方法については、ハード本体付属の各マニュアルを参照して下さい。

コマンドリスト

生産フェイズ

コマンド	効果	ページ
生　　産	新たに生産するユニットを指定します。	21
継　　続	艦船の建造を一時中止したり、廃艦にするコマンドです。	21
修　　理	艦船の修理をします。	22
補　　充	拠点・航空隊・陸軍のダメージを回復させます。	22
改　　装	艦船ユニットに改装を施して能力を上昇させます。	22
拠　　点	陸軍で航空拠点を建設します。	23
開　　発	科学技術に投資して新兵器の開発をします。	23
機　　能	ロッド・セーブや諸機能のON・OFFをします。	24

拠点航空隊フェイズ

コマンド	効果	ページ
移　　動	拠点に属する航空隊の移動を行ないます。	26
攻　　撃	拠点に属する航空隊による攻撃を行ないます。	26

海軍行動フェイズ（艦隊編成）

コマンド	効果	ページ
艦隊に所属させる	既存の艦隊に艦船ユニットを編入します。	28
艦隊から外す	艦隊から艦船ユニットを外します。	28
新しい艦隊を作る	新たに艦隊を編成します。	28
艦隊を解散する	艦隊所属の艦船を全て「所属無し」にします。	28
メイン画面に戻る	艦隊編成を一時中止して作戦マップへ戻ります。	28

海軍行動フェイズ（搭載）

コマンド	効果	ページ
燃料を搭載する	艦隊に所属する商船に燃料を積みます。（10単位）	31
陸軍を搭載する	艦隊に所属する商船に陸軍を積みます。	31
航空隊を搭載する	艦隊に所属する空母に航空隊を搭載します。	31

海軍行動フェイズ（艦隊任務計画）

コマンド	効果	ページ
ポイントミッション選択	ポイントミッションを選択して下さい。	34
ラインミッション選択	ラインミッションを選択して下さい。	35

陸軍行動フェイズ

コマンド	効果	ページ
移　　動	陸軍ユニットを移動させます。戦闘は自動的に行なわれます。	37

海軍帰還フェイズ　　海軍帰還フェイズ

コマンド	効果	ページ
燃料を揚陸する	艦隊が輸送中の燃料を拠点に揚陸します。	39
陸軍を揚陸する	艦隊が輸送中の陸軍を拠点に揚陸します。	39
航空隊を揚陸する	艦隊の空母に所属する航空隊を拠点に揚陸します。	39

講和条約フェイズ

コマンド	効果	ページ
講和条約条件提出	講和条約を連合軍に対して提出します。	43

ディップスイッチの設定

　コンピューターの動作環境を設定するスイッチが、本体下部にあります。本製品の動作環境に合わせた設定を行なって下さい。スイッチが下に下がっている状態がONです。

ディップスイッチ一覧

PC−9801　VM21以降

SW 1

1 ON
2 OFF
3 OFF
4 OFF
5 OFF
6 OFF
7 OFF
8 ON

SW 2

1 OFF
2 OFF
3 ON
4 ON
5 OFF
6 OFF
7 OFF
8 OFF

SW 3

1 OFF
2 OFF
3 OFF
4 OFF
5 OFF
6 OFF
7 OFF
8 ON (VM11／21／UV11／21
DO／DO+／CVはOFF)

PC−286 ／V／X／VE／VF／VS／VX／VG／UV／US／C／CSTD
PC−386 ／S／V／M／VR
SW3−7をON
SW3−8をOFF
他の設定はVM21以降と同じ

PC−9801　VM2／UV2
SW2−5をON
SW3−8をOFF
他の設定はVM21以降と同じ

PC−9801　UF・DX・DA・DS
外部スイッチの1をON
外部スイッチの2以降をOFF
UFはクロック数を8に合わせて下さい。

ユーザーサポート

もし、プログラムが立ち上がらなかったり、立ち上がっても正常に作動しなかった場合、もう一度〝システムノート〟をお読みになった上、以下の事をお確かめください。

1　ディスクは正しくセットされていますか?
2　周辺機器と本体との接続不良は有りませんか?
3　お手持ちの機種と本体は対応していますか?

それでも正常に動作しなかった場合は、お買いもとめのソフトウェアショップの担当者にご相談ください。他の同機種のハードウェアで正常動作する場合、お手持ちのハードが故障している恐れが有ります。

以上の点をご確認の上でなお製品の不良が考えられる場合、「ユーザーサポートシート」に所定の事項を記入して〝ユーザーサポート券〟を添付の上、パッケージごと当社〝ユーザーサポート係〟までお送りください。

なお、お客様の不注意による不良の場合は規定の料金を申し受けますのでご了承下さい。

また、誠に勝手ながら本品のユーザーサポートは平成4年3月31日をもって終了させていただきます。

ユーザーサポートのあて先

〒169 東京都新宿区西早稲田2−14−1 TOHMA西早稲田B1
ウルフチーム　大東亜黙示録　轟　ユーザーサポート係
TEL.03−5273−4795

サポート券 ①	サポート券 ②	サポート券 ③

サポートシート

※機種名等、出来るだけ詳しく記入して下さい。

(ふりがな)
お客様氏名　:

(ふりがな)
お客様住所　:〒

お客様電話番号　:　(　)

拡張メモリ　:

ディスプレイの機種名　:

ハードディスクの機種名:

マウス　:

FM音源ボード　:

MIDIボード　:

その他拡張ボード　:

問題点に至るまでの動作:

※このシートはコピーしてお使い下さい。

サポート券

2. その他ハードウェア環境

【ディスプレイ】

アナログRGB表示の可能なものが必要です。

【バスマウス】

本製品の操作はキーボードでも可能ですが、本来マウス操作を前提に製作されていますのでバスマウスをお持ちの方は操作を快適にするためにバスハウスの使用をお勧めします。バスマウスを使用する場合関PC－9801シリーズに接続可能な物をお使い下さい。

【音源ボードについて】

PC－9801用の音源ボードに対応しています。（FM3音＋PSG3音の規格に準拠したもの）FM音源ボードを装備することで音楽を楽しむことが出来ます。

【MIDIボードについて】

本製品は以下のMIDI音源に対応しています。お手持ちのMIDI音源が対応しているかどうか御確認ください。

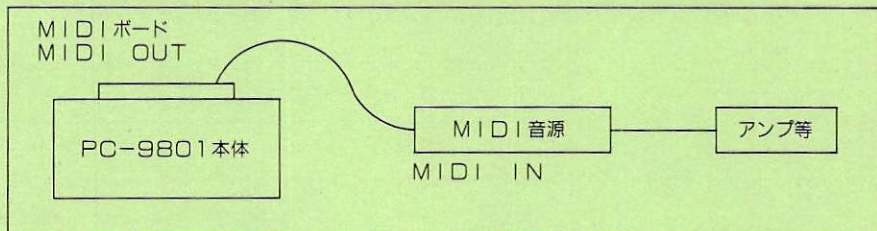
（MIDI Musical Instrument Digital
Interfaceの略称）

ローランド社製の以下のMIDI音源に対応しています。

MT－32　CM－32L　CM－64

MIDI接続に必要なもの

1　PC－9801用MIDIボード。
2　対応しているMIDI音源。
3　MIDIケーブル。
4　音声再生装置（アンプ・ヘッドホン）。

MIDI音源を使用する場合、SHIFTキーを押しながらゲームを起動して下さい。

※MIDIケーブルが5メートル以上ある場合、信号が正常につながらない場合が有ります。また、MIDIから出力される音が止まらなくなった場合、いったん電源を切ってしばらくおいてから起動し直してみて下さい。なお、MIDIについて詳しく知りたい方は市販の専門書などをお読み下さい。